幼児教育学科

科目名: 保育実習Ⅲ					担当教員 氏名: 岡野 宏宣
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件)必修／選択	備考
2	2年次	後期	専門科目	実習	選択	保育士資格指定科目(選択必修)

実務経験を用いてどのような授業を行っているか:

授業科目の学習教育目標の概要:	キーワード
児童福祉施設(保育所以外)等での10日間の実習を通して、保育実習Ⅰ-②の学び等をもとに、さらに個別の子どもや利用者とのかかわりを深め、具体的な保育援助や支援の方法について学ぶ。	・個別のかかわり ・保育援助・支援の方法 ・社会的養護 ・協働 ・職業倫理

授業における学修の到達目標

学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)	自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 2. 5. 6. 7. 8. 9. 10
A 知識・理解力	児童福祉施設の役割や機能について、実践を通して理解を深める。
B 専門的技術	個別の子どもや利用者への理解を深め、保育・支援計画の作成、実践、記録、自己評価等を通して、児童家庭福祉および社会的養護に対する理解を深める。
C 論理的思考力	
D 問題解決力	
G 倫理観	施設内、および、家庭や地域社会との協働・連携について理解を深めると共に、保育士の職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。

成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 100 %

特記事項:
実習先施設の評価に担当教員の評価を合わせ、総合的に評価する。
本科目はアクティブ・ラーニングの一環として児童福祉施設等で実習を行い、学内において実習報告会を実践している。

アクティブラーニング要素:
課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション (実習、フィールドワーク)

テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:

授業計画	準備学習(予習・復習等) 学習内容	学習に必要な時間(分)
※実習先施設のプログラムに沿って実習を行う。		

使用テキスト:	その他参考文献など:

受講上の留意点(担当者からのメッセージ):
保育実習Ⅲは、保育士資格取得のため、保育実習Ⅱといずれかを選択して行われるものです。対象となる施設は、児童厚生施設、児童発達支援施設等の福祉施設です。実習は子どもたちや利用者の生活の場で行われます。そのことを十分認識し、社会人としての自覚をもって実習に臨んで下さい。尚、保育実習Ⅲへの参加は、保育実習指導Ⅰ、保育実習指導Ⅲやその他保育士資格に必要な科目の履修状況、保育実習Ⅰ-①・保育実習Ⅰ-②の実習状況や評価、短大生活への取り組み等に基づいて総合的に判断されます。